

## 米国パテントエージェント試験

田 中 裕 紀\*

**抄 録** 近年、米国特許事務所等において米国特許実務についての短期・長期研修を行う知財関係者の数も増加していますが、そのような研修生から米国パテントエージェント試験（以下、Agent試験）を受験したとの話を聞くこともよくあるかと思えます。ここでは、ちょっと気になるAgent試験とは一体どんなものなのか、Agent試験を実際に受験し、合格した者として、受験生の視点から受験資格、試験内容（勉強方法）等を中心にQ & A方式で説明を試みます。

**Q 1** パテントエージェントとは？

**A 1** パテントエージェントとは、特許（デザイン、植物特許含む）出願、審判手続き等の代理を行う資格を有する者のことです。Agent試験に合格し、合格通知から2年以内に登録手続きを行って登録されることでパテントエージェントになることができます。ただし、商標出願、侵害訴訟業務の代理はできません。更に商標出願、侵害訴訟業務の代理を行うには、Agent試験だけでなく司法試験（Bar Exam）に合格する必要があります。

**Q 2** 外国人（日本人）もパテントエージェントになれますか？

**A 2** 米国への非移住者である外国人は、Agent試験に合格しても登録されず、パテントエージェントになることはできません。帰国後に合格者が名刺に単に「Agent試験合格」等と表記するのはそのためです。ただし、USCIS（米国移民局）によって認められた雇用資格に合致する場合は、限定的な認可（limited recognition）が与えられます（CFR11.9(b)）。USPTO（米国特許商標庁）が外国人に対して

完全な認可でなく限定的な認可を与えることは合法であると認めた判決もあります<sup>1)</sup>。

**Q 3** Agent試験の管轄は何処ですか？

**A 3** USPTOの加入・懲戒事務局（OED : Office of Enrollment & Discipline<sup>2)</sup>）です。

**Q 4** Agent試験の詳細情報はどこから入手できますか？

**A 4** OEDのWebサイトに「General Requirements Bulletin for Admission to the Examination for Registration to Practice in Patent Cases Before the United States Patent and Trademark Office」<sup>3)</sup>（以下、「受験要項」と称する）があります。受験資格、願書の記入方法等が詳しく記載されているので最新版の内容を確認下さい。

**Q 5** Agent試験を受験するために必要な要件は何ですか？

\* 富士通株式会社 弁理士 Yuki TANAKA

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

**A 5** (1) 科学技術のトレーニングを受けていること。

所定の学科<sup>4)</sup>について学士号（米国外の大学も可）を取得したことを示す、大学が発行する正式かつ印章を含む成績証明書の正本（卒業証書は不可）を提出することでこの要件を満たすことができます。数学等の工学系でない学科は含まれないことに注意する必要があります。所定の学科以外の学位であっても、所定の科目について所定単位数を取得していることを証明すれば足る場合もあります。詳しくは、「受験要項」を参照下さい。

なお、成績証明書に記載された学科名が、列挙された所定の学科名と微妙に異なる場合は注意が必要です。また、願書の名前と成績証明書の名前は一致していなければならず、名前が変わった場合は、名前の変更についての法律的文書類を提出する必要があります。

(2) 米国民であること又は米国民ではないが米国に居住し、かつ、認可がUSCISによって認められた雇用資格に合致すること。

従って、外国人の場合は、原則、米国に居住していなければAgent試験を受けることができません。

**Q 6** Agent試験を受験するためには何をすればよいですか？

**A 6** 所定のフォーマットの願書に必要事項を記載してUSPTOに提出する必要があります。その際、先に説明した成績証明書も必要となります。外国人の場合は、USCISや米国労働省との間でやりとりした書類の提出も受験資格の判断のために合わせて提出する必要があります。取得するビザのタイプによっては、認可との整合性が問題となり、受験できない場合もあります。USCISへの申請の際に、移民弁護士等にAgent試験を受けることができるかどうか相談するのがよいと思います。なお、ビザ

の申請期間の残余日数が少ない場合、試験を受ける意味がないとの理由で願書が拒絶されるケースもあるようです。

**Q 7** Agent試験の受験費用はどのくらいですか？

**A 7** 払い戻し不可の\$40の出願費用と、試験費用\$200（ペーパー試験の場合\$450）の支払いが必要となります。なお、試験費用は、願書が拒絶された場合、払い戻しを受けることができます。受験費用は変更される可能性もあるので、最新の情報を確認下さい。

**Q 8** Agent試験の方式にはどのような方式がありますか？

**A 8** コンピュータを利用するコンピュータ試験と、ペーパー試験があります。コンピュータ試験は、試験会場、試験日を選択できるため、近年では多くの受験生は、コンピュータ試験を利用しています。

**Q 9** コンピュータ試験とはどのような試験ですか？

**A 9** 画面上に表示される問題に対して適切な枝を選択操作することで回答を入力するコンピュータを利用（Thomson Prometric<sup>5)</sup>によって提供）した試験です。分からない問題を後回しにして先の問題に進むこともできます。資料の持ち込みはできませんが、MPEP（審査基準）を電子的に利用することができます。その際、キーワード検索も可能なため、WebのMPEP検索に慣れておくことをお勧めします。なお、試験会場では、Agent試験以外の他の試験も行われているようです。

**Q 10** 事前にコンピュータ試験を体験することはできますか？

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

**A 10** USPTOのホームページにアクセスして、コンピュータ試験のチュートリアルを利用することができます。本番に備えて操作に慣れておくことも得策です。

**Q 11** ペーパー試験はどのような試験ですか？

**A 11** USPTOを試験会場として行う試験で、試験問題、マークシート、MPEPが配布され、試験問題に対する解答をマークシートに記入して提出します。ちなみに、2008年のペーパー試験は、7月23日（水）、24日（木）に開催されたようです。3ヶ月程度前までに願書を提出する必要があるので注意して下さい。具体的な期限は「受験要項」を確認下さい。

**Q 12** Agent試験のボリュームと試験時間はどの程度ですか？

**A 12** 午前50問（3時間）、午後50問（3時間）の多肢択一形式で、合計100問を6時間で解くこととなります。ただし、午前の残り時間を午後にまわすことはできません。すなわち、午前の問題を早く終え、午後の問題を早めに開始したとしても午前の残り時間は振り替えられません。昼休みは1時間で、戻らなくとも自動的に午後の試験が開始されてしまいます（コンピュータ試験）。

**Q 13** Agent試験の問題はどのような傾向ですか？

**A 13** 出題される100問のうち、10問は得点の対象外であるβ版テストで、残りの90問が得点の対象となります。得点の対象である90問のうち、70%の正解（即ち、63問正解）で合格となります。なお、β版テスト問題は、試験結果を踏まえて、将来の試験問題として適当と判断されると、その後の試験に採用され、得点の対象として組み込まれます。試験問題の

中には、長文問題も含まれるため、過去の問題を読み込んでおくことがポイントです。現在は、MPEP第8版第4改定をベースに問題が出題され、PCTを含め、特許に関する問題が含まれます。MPEPの改定に応じてベースとなるMPEPも更新されます。

**Q 14** Agent試験において過去に出題された問題を入手できますか？

**A 14** はい。OEDのWebサイトの「Past Exams」から2003年10月、2003年4月、2002年10月の午前、午後の試験問題とその解答（解説含む）をダウンロード（無料）することができます。

**Q 15** Agent試験の一般的な勉強方法はどのような方法ですか？

**A 15** 過去に出題された問題の流用が殆どのため、過去に出題された問題を中心に勉強するのが一般的です。Agent試験のための受験機関も存在するので、受験機関を利用して要点を抑えて勉強する場合もあるようです。受験機関によっては、過去の問題が蓄積されたCD-ROMを利用した自己学習ツールを提供しています。

**Q 16** 試験結果（コンピュータ試験）はいつ分かりますか？

**A 16** 午前・午後双方の試験を同じ日に受けた場合、試験終了後すぐに試験で使ったコンピュータに、非公式の試験結果を表示させることができます。ただし、合格しても得点は表示されず、逆に、不合格の場合は、正解率が表示されるようです。午前・午後の試験を2日かけて受けた場合は、非公式の結果は得られません。公式の結果は試験後1週間以内に郵送され、また、合格者のモラル、評判に関する情報提供を求めめるため、Webサイトに合格者

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

情報が掲載されます。

**Q 17** Agent試験（コンピュータ試験）の受験者数と合格率はどの程度ですか？

**A 17** 2005年6月9日～2006年10月17日：受験者数4,165人，合格率58.2%。2004年7月26日～2005年6月9日：受験者数2,113人，合格率56.4%。

なお，コンピュータ試験導入前は，2003年（春・秋）：1,825人（49%），2,270人（45%），2002年（春・秋）：1,931人（57%），1,956人（72%）。合格点は決まっているため，試験問題の難易度に応じて合格率が変動します。

**Q 18** 不合格だった場合，Agent試験に再挑戦することはできますか？

**A 18** 不合格の旨の通知の受信により再挑戦することもできます。ただし，最後の試験から30日待たなければなりません。また，願書の提出からもう一度やりなおす必要があり，費用は最初の試験と同様に必要です。

**Q 19** Agent試験を受験する（合格する）ことのメリットは何でしょうか？

**A 19** MPEPの主要な事項を理解するとともに，MPEPの引き方をマスターする良い機会になると思います。また，母国語でない試験という不利な条件下で，専門性の高い試験に合格した実績は，米国特許弁護士等からもそれなりの評価を受けると考えます。

#### 注 記

- 1) Catherine Lacavera v. Jon W. Dudas (No.05-1204; February 6, 2006)
- 2) <http://www.uspto.gov/web/offices/dcom/gcounsel/oed.htm>
- 3) <http://www.uspto.gov/web/offices/dcom/olia/oed/grb.pdf>
- 4) バイオ，バイオ化学，植物学，コンピュータサイエンス，電子工学技術，食品技術，一般化学，海洋技術，マイクロバイオ，分子バイオ，有機化学，薬理学，物理学，繊維技術，航空工学，農業工学，バイオ化学工学，セラミック工学，化学工学，土木工学，コンピュータ工学，電気工学，電気化学工学，物理工学，一般工学，地質工学，工業工学，機械工学，冶金工学，鉱山工学，原子核技術，石油工学
- 5) <http://www.prometric.com/default.htm>

（原稿受領日 2009年3月11日）